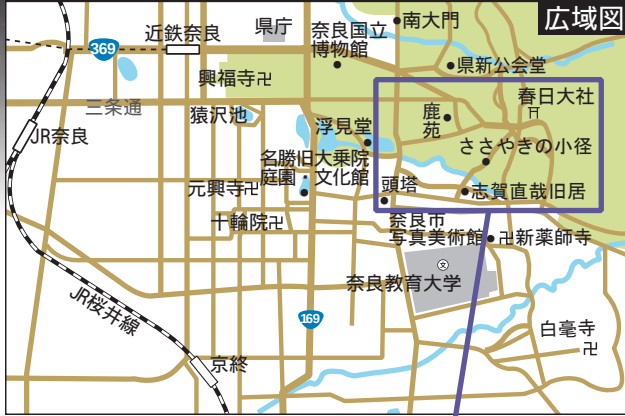


志賀直哉旧居を巡る観光モデルコース①

文人が愛した道をたどる

春日大社とささやきの小径



志賀直哉旧居



高畑界限

▲高畑の閑静な住宅街を巡る小道。鎌倉時代に春日大社の神職たちが居住し、明治から昭和初期にかけ多くの文人や芸術家たちが集まった。

START!

① 春日大社表参道バス停

7分

② 鹿苑

8分

③ 春日大社

5分

④ ささやきの小径

10分

⑤ たかばたけ茶論

1分

⑥ 志賀直哉旧居

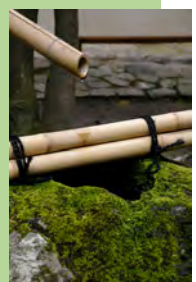
5分

⑦ 破石町バス停

GOAL!

コースガイド

※見学時間は含みません



志賀直哉旧居

コースのポイント

文人が愛した散歩道

直哉もよく歩いたという散歩道をたどるコース。古の香りを今に伝える春日大社から、文人や芸術家が愛したというささやきの小径を抜け、志賀直哉旧居に向かいます。途中で直哉に縁の深いカフェで休憩をして、高畑の趣ある小道を巡ってみるのもいいでしょう。

志賀直哉旧居を巡る観光モデルコース①

文人が愛した
道をたどる

春日大社とささやきの小径



ささやきの小径



志賀直哉



鹿苑

MAP②

春日大社の石燈籠が並ぶ参道の南側に位置する鹿の保護施設です。毎年10月には伝統行事「鹿の角ぎり」、11月には死亡した鹿の慰霊祭である「鹿まつり」が行われます。

鹿の角ぎり

EVENT

江戸初期の寛文年間（1671年）に危険防止と樹木の保護のために始まった伝統行事。勢子といわれる人たちが、角ぎり場に追い込まれた荒々しいシカをつかまえ、神官が角を切るという、古都の秋を彩る勇壮な行事です。

- 日時／10月上旬の土・日・祝
12時 15時
- 大人1000円、小人500円
0742-22-2388（（財）奈良の鹿愛護会）



たかばたけ茶論

MAP⑤

大正8年、南仏プロバンスの田舎屋を模して、足立源一郎画伯が建てた洋館。その後、隣に志賀直哉が自宅を建てて移り住んだことで、この場所にも直哉はじめ白樺派文人が集っていました。ここを受け継ぎ、高畑サロンの復活を願う中村一雄画伯により、現在はカフェになっています。

- 11時～18時
- 火曜休
- コーヒー 550円 ケーキ 650円
0742-22-2922



志賀直哉旧居

MAP⑥

白樺派の文豪・志賀直哉が住んだ和洋折衷の住居。この場所で名作『暗夜行路』が書き上げられました。武者小路実篤や谷崎潤一郎など多くの文人画家の集いの場所で「高畑サロン」と呼ばれていました。

- 9時半～17時半（12月～2月は16時半）
- 一般350円 中学生200円 小学生100円
- 月曜休（祝日除く）
0742-26-6490

「暗夜行路」を完成 させた、2階の書斎

CHECK

直哉の昭和6年4月に書かれた日記に「これから二階の書斎を充分に利用しよう」という記述があります。一階の書斎は、窓から見える景色が絶景で、静かで落ち着ける場所だったようですが、南から陽が入るので冬場などは一階より快適に過ごせませんでした。小説『暗夜行路』もここで書き上げたと言われています。



暗夜行路第1版



高畑界隈

春日大社

MAP③

古くから神聖視されていた春日山・御蓋山の西麓に、神護景雲2（768）年に鎮座したといい、皇室や貴族、武家の崇敬を受けて繁栄しました。境内には、「万燈籠」で知られる約3000基もの燈籠が並んでいます。

- 4 10月は6時半 17時半
11 3月は7時 16時半
- 境内自由、本殿特別参拝500円
0742-22-7788



ささやきの小径

MAP④

春日大社の二の鳥居の南側から、新薬師寺のある高畑へ続く500mほどの静かな散歩道。かつては文化人が多く散歩したと言われています。道沿いには馬酔木の原生林が生い茂り、3月中旬 4月上旬頃に白く可愛い花を咲かせます。「下の禰宜道」（しものねぎみち）というのが正式な名称です。

